

担当者からヒトコト



しっかり“準備”するだけで、
もっと“積極的”になれる。

株式会社JTB西日本 法人営業大阪支店 副支店長
人見能暢さん

ここ数年続けて追手門の学生さんをお迎えしている印象としては、皆さん、“おとなしく、いい子”ですね。これは悪いことではありません。ただインターンシップや就活という面では、短い時間で自分を表現できるほうがよい。それには“おとなしく”を“積極的な”に変えていくといんです。具体的なひとつの方法としては、しっかりと事前準備をしておくこと。相対する企業を十分にリサーチし、理解しておけば“自分ならこうしてみたい”が生まれてくるはずですから。そうすればもっと早く、よりよいかたちで自分の良さが伝わると思えますね。インターンシップでそれができれば、さらに自信を持って就活に臨めるはず。頑張ってください！



暇をみつけて担当者に質問。インターンシップでなければ聞けないような率直な疑問にも、快く答えてくれる。

インターンシップ期間を終えたあとも使われる販促用社内ツールを制作。考え工夫した分だけいいものになった。



就活に役立つ!!

CHALLENGE INTERNSHIP

▶ 追手門学院大学のインターンシップ

インターンシップの現場をレポート

就活スケジュールの変更で、さらに重要度を増すと言われる“インターンシップ”。本学では2年生から対象授業の履修が可能。ここに紹介するインタビューレポートも参考に、ぜひ参加しよう!



スクールの子供たちが、休憩タイムに殺到。水のボトルを渡しても、渡しても、キッズは次々やって来る。



本学のエコボランティアスタッフと合流し、ゴミの分別に協力。強力な助っ人・ガンバボーイも登場。



この日はあいにくの空模様。試合前に開催されるキッズスクールでは、雨に合わせて子供たちの誘導に大忙し。

JTB西日本

企業プロフィール

株式会社JTB西日本 | 株式会社JTBのグループ企業。持ち株会社制への移行により、2006年に分社化され、グループ内の“地域総合型会社”として、近畿2府4県の営業基盤を担う。個人・法人へ向けた旅行事業をはじめ、イベント、マーケティングなど多岐にわたる業務を展開している。

ガンバ大阪

企業プロフィール

株式会社ガンバ大阪 | 1991年設立。日本プロサッカーリーグに加盟するプロサッカーチーム「ガンバ大阪」の運営企業。「ホームタウン」は吹田市・茨木市・高槻市・豊中市。本学とはオフィシャルパートナーシップを提携しており、相互協力によるさまざまな活動を行っている。

インターンシップ体験者 INTERVIEW

自分の今居る地点をリアルに見つめられる機会。

旅行・観光業界に進みたいという気持ちから、(株)JTB西日本へのインターンシップを希望しました。はじめはとにかく不安でしたが、日を追うごとに少しずつ楽しみながら取り組めるようになってきましたね。昨日から、一緒に参加している学生たちと共同で支店内に貼られる販促ポスターを作っていたのですが、その際にもまだまだ足りないなど思える部分がありましたし、ひとつひとつ自分の課題を洗い出せているように思います。旅行・観光業界への動機はさらに強くなった一方で、資格取得や語学学習、ホテルへのインターンシップ参加など、さまざまなことにチャレンジしてからも遅くないかもしれない、と改めて思えたい機会になりました。

経済学部 | 経済学科 | 3年生
山江 駿さん



調べるだけでは得られない言葉と実感が収穫。

就活の具体的なイメージを持てていなかったのが、準備の仕方から教わっていきたくて、インターンシップに参加できる授業を履修。インターンシップ先には、所属している少林寺拳法部の渉外として合宿などの際に接点があったことから、旅行業界に興味を持っていたので(株)JTB西日本を希望しました。社員の方々に話を伺いながら業務を手伝っていく中で、ただツアーの販売・添乗だけでなく、イベントを企画・実施するなど、派生的に広がる仕事がいかに多く幅広いかを知りました。そして、それらすべてがカタチはなくても“モノづくり”なんだと感じられたことが一番の収穫ですね。興味があった業界から、ぜひ働いてみたい業界に変わりました。

国際教養学部 | アジア学科 | 3年生
木谷 巨成さん



明確な目標と人生の指針が得られた“転機”といえる10日間。

(株)ガンバ大阪を選んだのは、友人たちとフットサルチームを作っているほどサッカーが好きだったから。けれど期間中は楽しいというよりも、初めての経験ばかりで必死でした。おかげで観客として体験する表舞台からはうかがい知ることのできない、裏方としてチームを支えることで得られる達成感を味わえ、将来的にはイベントを運営するような会社で働きたいという明確な目標ができました。また、普段の学生生活ではなかなか会えない取締役の方と話せたことも大きな糧になりました。その時言われた「成長していくためには、失敗する勇気を持つこと」という言葉は、これからの就活だけでなく、その先の人生でも指針にしていきたいなと思っています。

社会学部 | 社会学科 | 3年生
横田 篤樹さん



いきいきと働ける仕事に就きたい、という思いを再認識。

もともと、自分でアイデアを出して“場”を作りながら、地域の人と直にふれ合えるような仕事に就きたいと思っていたので、インターンシップ先に(株)ガンバ大阪を希望しました。まず、それほど多くない人数で運営されていること、社員の方々がいきいきと働かれていることが印象的でした。私自身は、特にホームタウンとの関わりに興味があったのですが、実際にサポートファミリーと呼ばれるお店や企業へPRグッズを届ける業務に同行させていただくと、どこからもクラブへの愛情が感じられ、ほんとうにいい関係を築けているんだなと思いました。ここでインターンシップに参加できたおかげで、就きたい仕事の方向性がさらに明確になった気がします。

経営学部 | マーケティング学科 | 3年生
岩田 麻悠子さん



インターンシップ体験者 INTERVIEW